

## 地震災害予測研究会（第3回）議事要旨

日 時：平成24年1月31日(火) 15:00～17:00

場 所：損保料率機構 29階L1・2会議室

出席者：（順不同、敬称略）

（委員）北川良和 翠川三郎

和泉正哲 額瀨一起 境有紀 林康裕 緑川光正

（機構）大滝(リスク業務室長) 江口(火災・地震保険部長)

丸楠(火災・地震保険部地震グループリーダー)

（事務局）損保料率機構リスク業務室

議 事：

### 1. 住宅の損壊被害予測手法に関する研究について

A. 研究事業の委託先より、2007年以降の大きな地震における保険実績データを用いた地震動指標と被害率の分析の進捗を説明した。

B. 委員から、下記の意見があった。

1) 機械的な分析に終始せず、少なくとも大きな被害率あるいは大きな地震動を記録した地震観測点については、以下の観点で一つ一つ詳しく分析すべきである。

- ・地震動の周期特性が偏っていないか
- ・地震計の設置環境は悪くないか
- ・地震動と建物被害の関係は物理現象と対応が付きそうか

2) 東北地方太平洋沖地震は、2007年以降のそのほかの地震と比較すると継続時間が長いという特徴がある。この特徴の影響について、注意して分析を進める必要がある。

以 上